



七夕の夜に出会いを

五所川原
バル街

サポートの場初設置

人も見られるなど、大勢の参加者でにぎわった。今年は9月3日にも開催を予定している。

(下山和枝)

五所川原バル街が7日、五所川原市の中心街で開かれた。これまで最多の45店舗が参加したほか、男女の出会いをサポートするブースが設けられるなどし、参加者が各店こだわりのピンチョス(小料理)やドリンクを味わいながら、七夕の夕べを楽しんだ。

に合わせ、恋人の聖地に認定されている立佞武多広場に、出会いをサポートするブースを初めて設置。平日ながらも、チケットはほぼ完売となった。

立佞武多広場で夕方から開かれた開会式で、木元実行委員長は「本日は少々肌寒いが楽しんでほしい」とあいさつ。三上裕行副市長は「七夕の夜の一期一会を満喫してほしい」と呼び掛けた。

五所川原バル街実行委員会(木元猛実行委員長)が主催。3回目となる今年は七夕の日

会場は地元アイドルのパフォーマンスで盛り上がったほか、初

立佞武多広場で乾杯するバル街参加者

会場は地元アイドルのパフォーマンスで盛り上がったほか、初